

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成27年10月15日 (2015.10.15)

【公開番号】特開2015-33538(P2015-33538A)

【公開日】平成27年2月19日 (2015.2.19)

【年通号数】公開・登録公報2015-011

【出願番号】特願2013-166624(P2013-166624)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成27年8月31日 (2015.8.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 始動口へ入球した遊技球が第 1 検知手段によって検知されたことを契機として変動ゲームのうち第 1 変動ゲームの実行を保留可能であるとともに、前記第 1 始動口とは異なる第 2 始動口へ入球した遊技球が第 2 検知手段によって検知されたことを契機として変動ゲームのうち第 2 変動ゲームの実行を保留可能な遊技機において、

通常状態に比べて前記第 2 始動口へ遊技球を入球し易い入球率向上状態に、遊技状態を制御可能な遊技状態制御手段と、

保留中の変動ゲームを示す保留表示画像を表示する保留表示手段と、

前記保留表示手段を制御する表示制御手段と、

保留中の第 1 変動ゲームを対象として、大当たりとなるか否かに関する情報を生成する情報生成手段と、を備え、

前記変動ゲームは、保留された順番で実行され、

前記表示制御手段は、遊技状態が前記入球率向上状態である場合であって、第 1 変動ゲームが保留されたときには、該第 1 変動ゲームを対象として前記情報生成手段が生成した情報に基づいて、該情報の生成の対象とした第 1 変動ゲームを示す保留表示画像、及び前記情報の生成の対象とした第 1 変動ゲームよりも後に保留された第 2 変動ゲームを示す保留表示画像のうち少なくとも 2 つの保留表示画像の表示態様を変化させることが可能であり、

前記保留表示手段において表示された複数の保留表示画像の表示態様の組み合わせによって、前記情報の生成の対象とした第 1 変動ゲームの大当たり期待度が示されることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記保留表示手段において表示可能とする保留表示画像の表示態様の組み合わせを選択する選択手段を備え、

前記保留表示手段において表示可能とする保留表示画像の表示態様の組み合わせには、組み合わせ内容の一部が同一であるものを含む複数の種類があり、

前記選択手段は、前記保留表示手段において表示される保留表示画像の表示態様の組み合わせに応じて異なる大当たり期待度が示されるように、前記保留表示手段において表示可能とする保留表示画像の表示態様の組み合わせを選択することを特徴とする請求項 1 に記

載の遊技機。

【請求項 3】

前記保留表示手段において表示可能とする保留表示画像の表示態様の組み合わせを選択する選択手段を備え、

前記大当りには複数の大当りがあり、

前記保留表示手段において表示可能とする保留表示画像の表示態様の組み合わせには、第 1 の組み合わせと、第 2 の組み合わせと、を含み、

前記選択手段は、第 2 の組み合わせに比して、第 1 の組み合わせの方が、前記複数の大当りのうち特定の大当りとなる可能性が高くなるように、前記保留表示手段において表示可能とする保留表示画像の表示態様の組み合わせを選択することを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記保留表示手段において表示可能とする保留表示画像の表示態様の組み合わせを選択する選択手段を備え、

前記大当りには利益の異なる複数の大当りがあり、

前記選択手段は、最も利益の大きい大当りとなることを条件として、前記保留表示手段において表示可能とする保留表示画像の表示態様の組み合わせのうち、特定の組み合わせを選択可能になることを特徴とする請求項 1 ～ 請求項 3 のいずれか一項に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決する遊技機は、第 1 始動口へ入球した遊技球が第 1 検知手段によって検知されたことを契機として変動ゲームのうち第 1 変動ゲームの実行を保留可能であるとともに、前記第 1 始動口とは異なる第 2 始動口へ入球した遊技球が第 2 検知手段によって検知されたことを契機として変動ゲームのうち第 2 変動ゲームの実行を保留可能な遊技機において、通常状態に比べて前記第 2 始動口へ遊技球を入球し易い入球率向上状態に、遊技状態を制御可能な遊技状態制御手段と、保留中の変動ゲームを示す保留表示画像を表示する保留表示手段と、前記保留表示手段を制御する表示制御手段と、保留中の第 1 変動ゲームを対象として、大当りとなるか否かに関する情報を生成する情報生成手段と、を備え、前記変動ゲームは、保留された順番で実行され、前記表示制御手段は、遊技状態が前記入球率向上状態である場合であって、第 1 変動ゲームが保留されたときには、該第 1 変動ゲームを対象として前記情報生成手段が生成した情報に基づいて、該情報の生成の対象とした第 1 変動ゲームを示す保留表示画像、及び前記情報の生成の対象とした第 1 変動ゲームよりも後に保留された第 2 変動ゲームを示す保留表示画像のうち少なくとも 2 つの保留表示画像の表示態様を変化させることが可能であり、前記保留表示手段において表示された複数の保留表示画像の表示態様の組み合わせによって、前記情報の生成の対象とした第 1 変動ゲームの大当り期待度が示されることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記遊技機について、前記保留表示手段において表示可能とする保留表示画像の表示態様の組み合わせを選択する選択手段を備え、前記保留表示手段において表示可能とする保留表示画像の表示態様の組み合わせには、組み合わせ内容の一部が同一であるものを含む複数の種類があり、前記選択手段は、前記保留表示手段において表示される保留表示画像

の表示態様の組み合わせに応じて異なる大当たり期待度が示されるように、前記保留表示手段において表示可能とする保留表示画像の表示態様の組み合わせを選択するようにしてもよい。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記遊技機について、前記保留表示手段において表示可能とする保留表示画像の表示態様の組み合わせを選択する選択手段を備え、前記大当たりには複数の大当たりがあり、前記保留表示手段において表示可能とする保留表示画像の表示態様の組み合わせには、第1の組み合わせと、第2の組み合わせと、を含み、前記選択手段は、第2の組み合わせに比して、第1の組み合わせの方が、前記複数の大当たりのうち特定の当たりとなる可能性が高くなるように、前記保留表示手段において表示可能とする保留表示画像の表示態様の組み合わせを選択するようにしてもよい。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記遊技機について、前記保留表示手段において表示可能とする保留表示画像の表示態様の組み合わせを選択する選択手段を備え、前記大当たりには利益の異なる複数の大当たりがあり、前記選択手段は、最も利益の大きい大当たりとなることを条件として、前記保留表示手段において表示可能とする保留表示画像の表示態様の組み合わせのうち、特定の組み合わせを選択可能になるようにしてもよい。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0163

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0163】

次に、上記実施形態及び別例から把握できる技術的思想を、以下に追記する。

(イ) 保留変化演出実行手段は、保留変化演出の対象とした第1変動ゲームに対応する第1始動保留球以降に保留される第2始動保留球のうち少なくとも2つの保留表示画像の表示態様を変化させて表示し、保留変化演出の対象とした第1変動ゲームに対応する第1始動保留球以降に保留される第2始動保留球に対応する保留表示画像のうち、表示態様が変化した保留表示画像の組み合わせによって、保留変化演出の対象とした第1変動ゲームによる大当たり期待度を示唆する。